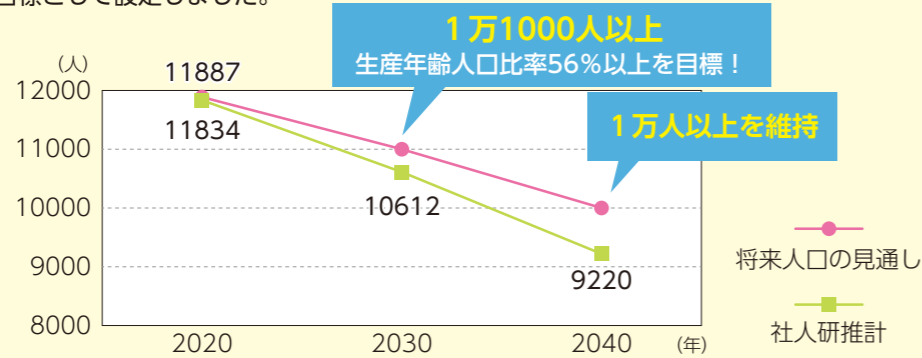


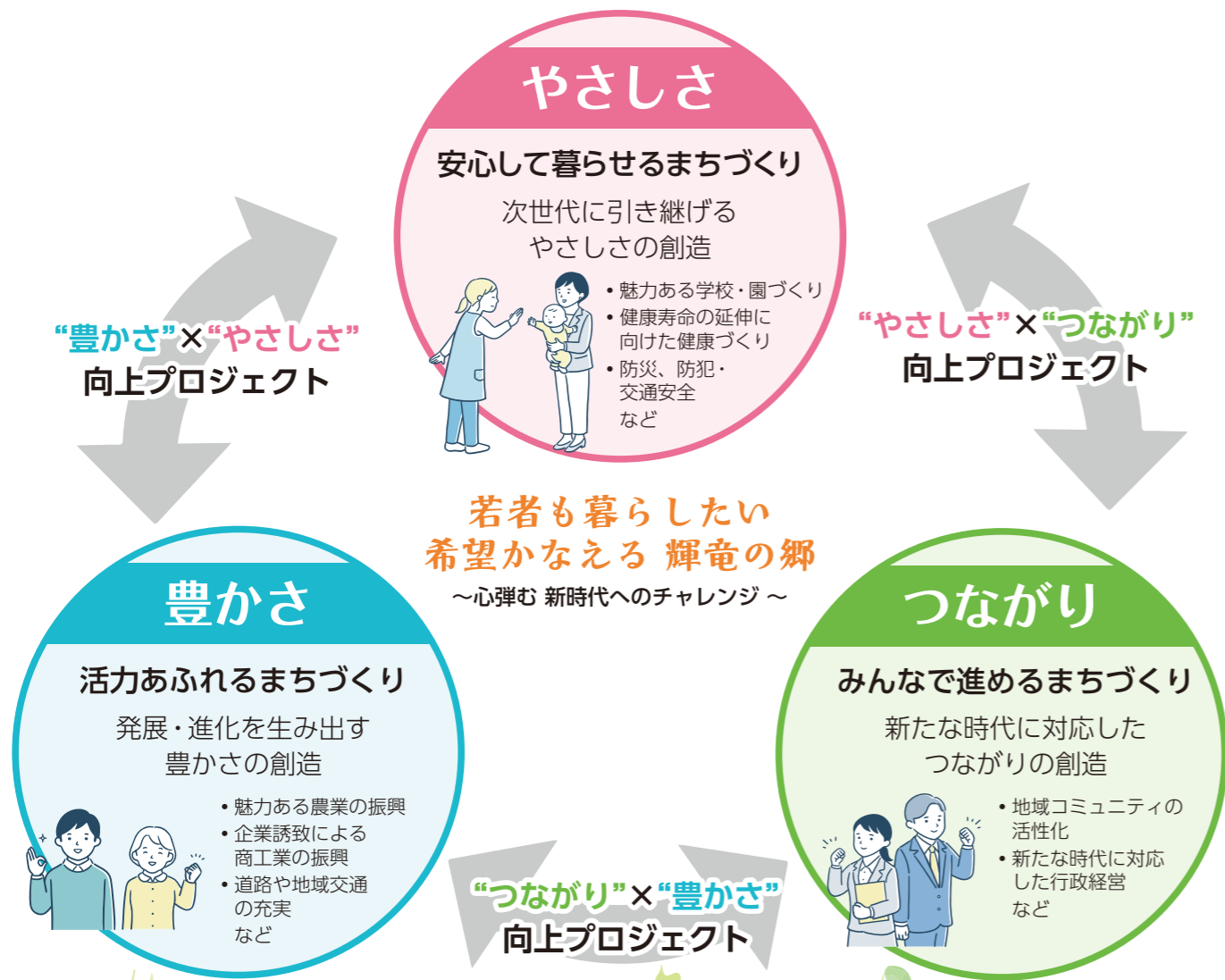
将来目標人口

少子高齢化に伴う人口減少が加速する中においても、10年後のあるべき姿を実現するための基盤となる将来人口について、2040年以降も1万人以上を維持することを長期的な目標として見据え、目標年次である2030年では、1万1000人以上(生産年齢人口比率56%以上)を目標として設定しました。



※社人研推計は、国立社会保障・人口問題研究所による推計
 ※将来人口の見通しは、各種取組により、転入・転出による社会動態、出生などによる自然動態の改善を図った人口見通し
 ※2020年人口(1万1887人)は、令和2年9月末住民基本台帳人口

基本計画 まちづくりを進める「3つの分野」



新時代へのチャレンジ

輝竜の郷づくり懇談会を開催しました

竜王町では、令和3年3月に第六次竜王町総合計画を策定し、新たなまちづくりをスタートしました。また、総合計画の実現に向けては、竜王町コンパクトシティ化構想を最重要施策と位置付け、まちづくりを進めています。これからのまちづくりの方向性をお示しし、10年後のあるべき姿の実現に向けた取り組みを町民の皆さんと共有する機会として、2月16日～22日にかけて町内3会場で計5回の「輝竜の郷づくり懇談会」を開催し、124名の方にご参加いただきました。今月号では、懇談会の概要や頂いたご意見などをお知らせします。

「第六次竜王町総合計画(令和3年度～令和12年度)」

10年後のあるべき姿

若者も暮らしたい 希望かなえる 輝竜の郷

～心弾む 新時代へのチャレンジ～

若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人(子ども、若者、子育て・働き世代、高齢者など)が、暮らしを通して地域に愛着を持ち、住み続けたいと思えるまちをめざします。

また、それぞれの幸せ(希望)を思い描き、それを人にかなえてもらうのではなく、自身の努力やお互いの支え合い、まち全体のしくみづくりにより実現でき、豊かな自然に囲まれた理想的な環境の中で誰もがきらりと輝くことができるまちをめざし、豊かで利便性の高いまちづくりにチャレンジします。

10年後のあるべき姿の実現に向けては4つの考え方を基本理念として、「豊かさ」・「やすしさ」・「つながり」の3つの分野により、まちづくりを進めます。

基本理念 まちづくりを進めるうえで大切にしたい「4つの考え方」

《次世代に誇れるまちづくり》

